



むとう千里

調布市議会議員（4期・13年目）

1964年岐阜県生まれ、日本福祉大学卒業、病院事務・保育士を経て1998年調布市議会議員に。市議会厚生委員長・文教委員・農業委員・国民健康保険運営協議会委員等を歴任。現在、市議会総務委員・議会運営委員。家族は夫と息子2人。

くらしの中の「困った」を
解決する調布市政に



一つひとつ調べ、考え 解決しています。

<この4年間で実ったもの>

- 中学生までの子どもの医療費の軽減措置（所得制限あり）、●すべての小中学校普通教室へのエアコン設置、●保育園の増設、●病（後）児保育施設の増設と小学3年生までへの対象の拡充、●認証保育所の保育料の助成制度、●学校給食の食器の改善、●給食費への市独自の補助制度、●学校図書館支援センターの設置、●ヒブワクチン摂取への助成制度、●妊婦健診の回数増、●特別支援学級の増設、●学童やユーフォーの新設・整備、●子ども発達センターの充実（相談部門の専任化）、●発達障害者の就労相談窓口の開設、●特養ホームの増設、●木島平村との交流事業の充実、…etc.

<提案し、努力中のもの>

- つつじヶ丘駅—JR中央線駅間のバス路線新設、●学校トイレの洋式化、●学童クラブの利用時間延長・障害児は6年生まで利用可能に、●ひとりぐらし高齢者の“見守り”体制の確立、●直売所や拠点づくりなど農業支援策の充実、●調布駅前公園（通称たこ公園）の存続、●子ども家庭支援センター「すこやか」の増設、●就学援助制度の対象拡充、●不妊治療への市独自の助成制度の創設…etc.（中面で取り上げたものを除く）



市議会議員になって12年半、たくさんの市民のみなさんから寄せられた要望について、みなさんのお力をお借りしながら、一つひとつ調べ、考え、解決してきました。まだまだやり残していることや不十分なこともたくさんありますが、これからもみなさんといっしょに、私たちが住む調布市が、より安心してくらしていける街になるよう努力していきます。それが本当の“ぬくもり”のある街だと思うのです。

日本共産党 **むとう千里の
はっぴい通信**

日本共産党

事務所TEL042-490-5230 E-mail/chi.muto@clock.ocn.ne.jp http://www.mutochi.net

主な活動地域 深大寺元町、深大寺北町、深大寺東町、深大寺南町、柴崎、佐須4・5丁目、菊野台1丁目、国領8丁目

調布民報

2011年2・3月号外 調布市緑ヶ丘2-25-24-63高野方
日本共産党調布府中地区委員会の見解を紹介します

あきらめず
粘り強く

市民の〇〇ならいいのに…のつぶやきに応えます

待機児童200人、潜在的な希望者は4000人！？

仕事も子育ても…なのに保育園に入れない

出産しても子どもを保育園に預けられず、仕事に復帰できないと悩む子育て家庭が増えています。長引く不景気や非正規雇用の常態化で、共働きを余儀なくされているのに、子どもを預ける保育園が足りないのです。

調布市でも希望者のうち、毎年200人前後の乳幼児が保育園に入れません。厚労省の調査では、希望してもどうせ入れないと、初めからあきらめしまっている「潜在的」な希望者を含めるとその20倍といえますから、調布市では約4000人にも及ぶ計算です。

- 認可保育園をもっと増やして
- 認証保育所の保育料を認可保育園並みに



近くに公園はあるけれど…

ボール遊びできない公園ばかり

近くに公園はあっても、禁止事項ばかりで、友達と野球やサッカーもできません。

これでは、家でテレビゲームするしかないよね。小・中学生がおもいきり遊べる公園が必要です。港区は公園の禁止事項がありません。でも、苦情やトラブルはほとんどないとのこと。公園の整備を進めると同時に、自由に遊べる公園づくりに取り組みます！



“ぬくもり” っていうけれど…

商店街はさびれ、農地は減るばかり

昨年のテレビドラマの舞台になった調布市。“ぬくもり”が街おこしのキャッチフレーズにもなっています。でも、商店街のさびれや農地の減少になかなか歯止めがかかりません。たとえばこの10年で、東京ドーム約9個分(41.3ha)の農地がなくなりました。

普段着で気軽に出かけ、世間話をしながら買い物ができる商店街や、ホッとできる緑や農地。住んでいる人が、本当に“ぬくもり”を実感できる街づくりの課題は、切実です。



ひとりぐらし高齢者15年で2倍以上に

このままでは孤立し“買い物難民”に

高齢化の波は、調布市でも例外ではありません。1985年からの20年間で、高齢者単身世帯や夫婦とも65歳以上の世帯は、いずれも4.5倍以上に急増しています。なかでも近隣に身内がない“ひとりぐらし高齢者”は約5,500世帯(平成22年)にものぼります。

こうした高齢者にとって、日々のくらしの利便性を確保することは、生命にもかかわる重大な問題です。とくに、深大寺地域はかねてから公共交通が未整備のまま残されており、その解決が急がれています。



- 深大寺地域にミニバスを早く
- せまい路地…できればワゴン車タイプの公共交通も
- 北部地域にも行政サービスの拠点を



京王線立体化、期待してるのに…

柴崎駅だけとり残されちゃうの？

京王線立体交差工事で国領～調布駅は大きく改善されます。また、つつじヶ丘駅のバリアフリー化工事も進んでいます。

ところが、柴崎駅及び駅周辺は、当面改善の具体的計画がありません。柴崎駅だけ取り残されてしまうの？と、周辺住民が立ち上がりました。

開かずの踏切による歩行者の不便や危険の解消は、地域住民にとって切実な課題です。

これまで、北口改札の終日オープンなどみなさんと一緒に実現してきました。これからもがんばります。